



# NST便り・初夏号

平成21年7月発行・NST委員会

編集担当：佐藤、大内、高橋、荻原



## 委員長挨拶

入院患者さんの多くは栄養障害を有しており、栄養管理は現疾患の治療に必要な条件です。NSTでは、患者さんの栄養管理に役立てればと願い、栄養に関する知識・技能を向上させ、栄養評価・栄養療法の提案をさせていただきたいと考えております。ご意見・ご要望などございましたらNSTスタッフにご相談 ご指摘頂ければ幸いです。

中堀消化器内科部長

## 新・NST委員(医師)の紹介



麻酔科・井上医長、消化器外科・安食先生の2名の先生方が新しくNST委員会のメンバーとなりました。3名の医師と共に委員一同頑張っていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 院内ミニ勉強会日程表

8月13日	メディエフバック 簡易懸濁法
9月10日	PEG
10月8日	身体測定
11月12日	摂食嚥下①
12月10日	摂食嚥下②
1月14日	検査について
2月11日	肝臓について

## ★メディエフバック(濃厚流動食)について★

- 1ml=1カロリーで300mlパックを用意しています。
- パックにラインをそのまま接続し注入できるため、調剤に要する時間が短縮でき、また1回ずつ使い捨てなので衛生面からも安全です。
- 食事代として請求できます。



## 「簡易懸濁法」ってな～に？

注入患者に与薬する際、薬がなかなか溶けずチューブがつまったことありませんか？今回はその悩みを解決する簡易懸濁法についてQ&A方式にてご紹介します。

- Q1. 『簡易懸濁法』って何？  
A. 簡易懸濁法とは、錠剤粉砕やカプセルを開封せずに、錠剤・カプセルをそのまま、あるいはコーティングに亀裂を入れて、温湯(約55℃)に入れ、崩壊・懸濁させて経管投与する方法です。
- Q2. 55℃の温湯ってどうするの？  
A. 看護室の水道のお湯の温度は最高53～55℃です。ポットの湯の場合はお湯2:水道1にする。
- Q3. どのくらい時間がかかるの？  
A. 薬剤によっては多少の差はありますが、平均して10分で溶けます。
- Q4. どうやってオーダーするの？  
A. オーダリング⇒処方⇒汎用コメントの「簡易懸濁法にて投与」を医師に選択してもらおうと、薬局で粉砕、錠剤のままを判断してくれます。ただしいくつか注意薬剤がありますので、ご注意ください。詳しくはNSTマニュアルを参考に実施してください。



## 嚥下訓練実施までの流れ

平成21年1月23日より、摂食機能療法が開始となりました。現在までの件数は13件です。しかしまだ皆さんに浸透していない部分があり、今後さらに嚥下訓練を円滑に進めていきたいと思い今回、実施までの流れを紹介していきたいと思います。

1. NSTコンサルテーション用紙の記入（記入後は栄養管理課へ流して下さい）
2. 嚥下訓練実施計画書は、嚥下訓練チームが実際に記入、Dr中堀の押印後記入後病棟に用紙を戻しますので、その後嚥下訓練開始となります。
3. 嚥下訓練開始にあたり、担当医に診療録に【嚥下訓練開始】と記載してもらうことが必要となります。
4. 毎週水曜日に患者さんを嚥下・訓練チームがラウンドし、嚥下訓練経過記録を基に評価します。（その日の受け持ち看護師も一緒に参加をお願いします。）
5. コストの請求方法は、オーダー画面⇒汎用⇒その他⇒(栄養・指導)の項目⇒摂食機能療法(一番下の欄)で入力をお願いします。
6. 必ず毎日実施できるように看護介入の観察項目で入力して下さい。

以上が、嚥下訓練が開始になるまでから実施までの流れです。何か分からないことがあれば、8F師長小畑までお願いします。

